

ハイキング(森林公園)と同好会総会の報告

3月6日(金)ハイキング同好会では、梅の咲きこぼれる森林公園で、2014年度最後のハイキングと、バーベキューパラダイスでのバーベキューと総会を行いました。少し気温は低めでしたがまずまずの天候で、午前9時熊谷駅南口に集合し、送迎バスにて森林公園南口まで送って頂き、南口から遊歩道に沿ってスタート。



参加者は16名、まず南口を入った噴水前で集合写真を撮影。



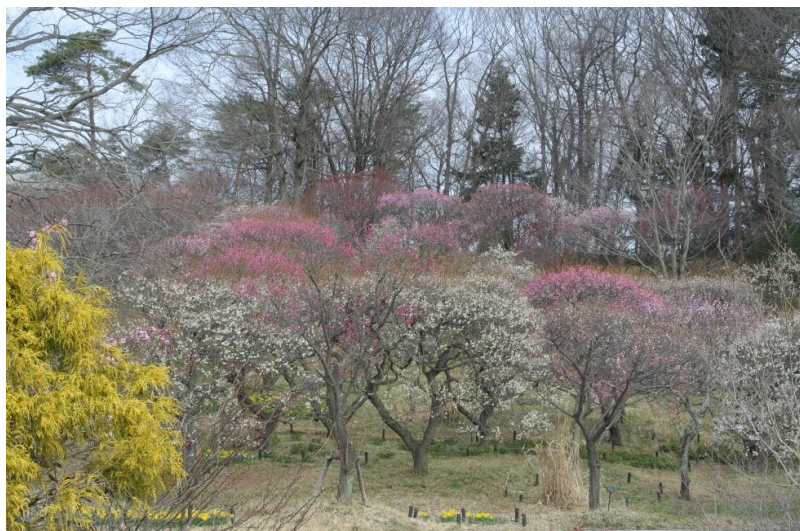
遊歩道を梅林(花木園)へ向かう一行



菜の花が満開



菜の花園の間の遊歩道を談笑しながら梅林へ向かう



梅林(白梅・紅梅など約120品種、600本)



それぞれ色・形の異なる梅の花



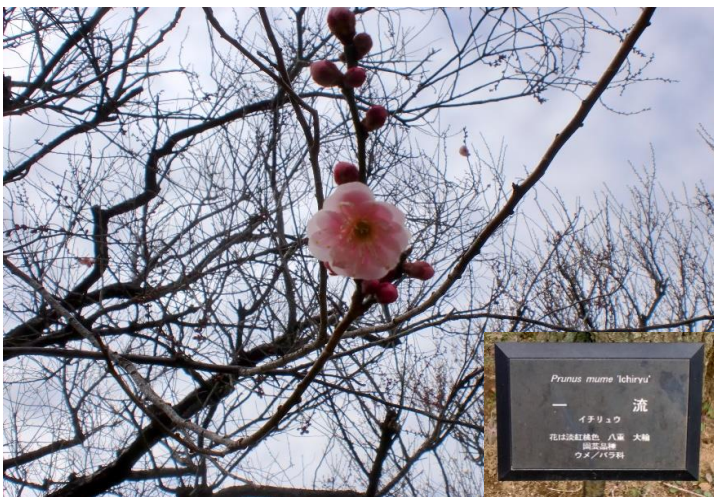
玉 簾(タマスダレ)
花が簾の様に、連なっているからかな？



扇 流(オウギナガシ)



八重旭(ヤエアサヒ)



一 流(イチリュウ)
一輪だけ咲いていました。「一流」の出番は、もっと後になってからかな(^_^)



八重冬至(ヤエトウジ)



Prunus mume 'Saibo'
西王母
 セイオウボ
 花は桃色 一重 中輪
 開花時期
 2月/3月中旬

西王母(せいおうぼ)

人間の非業の死を司る死神であった西王母であったが、「死を司る存在を崇め祭れば、非業の死を免れる」という、恐れから発生する信仰によって、徐々に「不老不死の力を与える神女」というイメージに変化していった。やがて、道教が成立すると、西王母はかつての「人頭獸身の鬼神」から「天界の美しき最高仙女」へと完全に變化し、不老不死の仙桃を管理する、艶やかにして麗しい天の女主人として、絶大な信仰を集めるにいった。

さとやまサポータークラブ マイスター講座



月影枝垂れ (つきかげしだれ)

「梅花千集」と「梅花」(安政6年)江戸時代からあり、花形は白色の中輪一重咲き。枝の緑と花色との映り具合が見事である。枝垂れ方はやや粗く、樹勢も弱い方で生育が遅い。良く似たものに、緑萼枝垂れがあり、月影枝垂れと同様に繁殖が難しく珍品である。花付が多いので、開花すると樹全体が青色に見える。開花期は2月中旬～3月中旬。枝垂性は、新梢の枝先が自然と下に垂れるもので、枝垂れかたにも粗い形、優しい形などさまざまである。野梅系に属し、新梢や1年生枝は日光や霜に当たっても変化せず、常に緑色である。萼も緑色であり、花は青白色で、一重と八重がある。木質部は花色に関係なく白色である。花色の白色は枝の緑色と萼の緑色に映えてそのコントラストが素晴らしい。

さとやまサポータークラブ マイスター講座 2014



幾夜寝覚 (いくよねざめ)

八重咲き大輪。花径2.5cm底紅の花で、「鈴鹿の関」「守の関」の八重咲き化といった花で記録的には江戸時代からのものと推察される。「梅花千集」に描かれている。現代まで生き残った佳品。

梅の中で、これ程豪華な花は他に類がないであろう。花は紅色、特に底紅が濃く、花弁の先との色の映り具合が大変美しく、この名を表している。

開花期は2月中旬である。

紅梅性に属し、花色に関係なく木質部は紅色を帯びているので見分け易い。枝は細かく分枝する。

さとやまサポータークラブ マイスター講座 2014



梅林から運動広場方面へ



大型テント(休憩所)でひと休み



噴水のある休憩所で小休止する皆さん



原種シクラメンも咲いていました。
(花は小さく可愛らしい)



トサミズキ(絶滅危惧種に指定されていることを知りました。)



公園内を約10km(1万5千～6千歩)あるきました。

南口(出口)に向かって歩く一行

展望レストラン屋上にて
(セルフタイマー10秒でセット、
上から駆け下りてギリギリ
”セーフ”・・・カシャ！)



森林公園からバーベキューパラダイスへ場所を移し、総会を行いました。席上次年度の計画が了承され、その後懇親会を行いました。



横山部長の挨拶と
新年度事業計画の説明



幸いお天気にも恵まれ春の花がいろいろ見られて、皆さん楽しい一日が過ごせたのではないのでしょうか。
担当の美工A班の方々お世話になりました。お疲れさまでした。

記：ふる伝 加藤